

令和5年度入学 総合型選抜 第2次選考
口頭試問（数学） 講評

問 1

【出題のねらい】

対数に関する基本公式，対数方程式の取り扱いについての基本的な理解を問うた。

【講評】

二つの問題で与えられた方程式は一見同じように見えるが，変数 x に対する条件は異なる。与えられた方程式を前提として適切な処理を行うことを求めた。(1)・(2)とも正答した受験者，いずれか一方を正答した受験者がほぼ同じ割合であり，両方とも不正答であった受験者は全体の1割に満たなかった。公式を用いる際には，それらが成り立つ基本的な条件を意識できるよう，日々の学習に取り組むことが望ましい。

問 2

【出題のねらい】

導関数として与えられた2次関数を持つ関数（つまり3次関数）の位置に関する，基本的な理解を問うた。

【講評】

結果としては，2問とも正答した受験者は全体の2割ほどであった。導関数の正負と，元の関数の増加・減少との対応関係は，導関数の示す基本的な意味である。しかし，基本的であるが故に，受験対策の中では疎かになりがちである。数式処理の技術を用いない“数式の持つ意味についての理解”も，しっかり時間をとって身につけてもらいたい。